

原料トピック

メロングリンデインの世界戦略

免疫機能低下を抑制

仏イソセル社フランソワ・ヴィックス社長

ニュートリションアクト(東京都港区、☎03・5475・7313)が取り扱う「メロングリンデイン」は、メタボリックシンドローム対応素材、アンチエイジング素材として認知度が高まっている。今月来日した供給元の仏イソセル社フランソワ・ヴィックス社長に世界戦略を聞いた。

「メロングリンデインの世界での展開についてお聞かせ下さい。」

ヴィックス メロングリンデインの世界規模での供給は加速しています。供給先は現在25カ国ですが、ギリシャ、トルコ、コロンビア、韓国、メキシコ、スカンジナビア諸国などが新たに加わり、来年は35カ国になる予定です。

日本では、メタボリックシンドローム対応素材、アンチエイジング素材として定着してきま



したが、海外での訴求ポイントや販路について教えて下さい。

ヴィックス 訴求ポイントは免疫賦活で、医家向け製品として、医師や

薬剤師のマーケットで展開しています。特に、イギリスのCMAという世界最大規模の代替医療学会のゴダール会長が、メロングリンデインを全面的にサポートして

おり、スポーツクスマンになっていま

す。CMAは、ニュー

ジーランド

や南アフリ

かなごを含む英連邦の

1方2000の組織や医師が加盟する学会で、公共性が非常に高く、今までひとつの製品を支持することはなかったのですが、メロングリンデインの製品には「Supported by CMA」と記載して販売しています。そして、CMAに加盟しているクリニックで、協会の名称が入った製品を医師が患者に処方すると、売上の一部が協会に還元されるシステムになっています。

「訴求ポイントが免疫賦活という点、がんやアトピー性皮膚炎などが対象になりますか。」

ヴィックス がんやアトピー性皮膚炎だけでなく慢性疾患全般を対象にしています。日本では、TV番組による健康食品のマーケティングが難しくなっていると聞いていますが、これは海外でも同様です。メロングリン

デインは、医師に使ってもらうことで信頼性を高めています。

「今月、九州で行われた補完代替医療学会では感染症を取り上げられましたが、感染症対策はいかがですか。」

ヴィックス 欧米でも感染症は問題になっており、当然免疫機能低下と関係しています。酸化ストレスと免疫機能の相関がメロングリンデインの最も重要なコンセプトであり、酸化ストレスを抑えることで、免疫機能の低下を抑制します。感染症に対する免疫機能のデータもあります。

EUでは、来年から日本のトクホのような制度が始まる予定です。メロングリンデインも「酸化ストレスを抑える」「自然の防御力を高める」「紫外線を防御し、皮膚の炎症を抑える」「動脈硬化を抑える」などのヘルス

クレームを申請していません。

「日本以外のアジア諸国ではいかがですか。」

ヴィックス インドネシア、マレーシアではメディカルサプリメントとして使われており、大変好調です。タイ、台湾、香港などはこれからですね。

「現在、実施中の研究はありますか。」

ヴィックス MDラットを使用し、ミトコンドリア糖尿病に対する研究を実施し、いい結果が出たところです。メロングリンデインで初めて、ミトコンドリアレベルでの効果を検証したもので、現在、論文発表の手続きを進めていますので、近いうちに、お知らせできるでしょう。

また、慢性疲労に関するヒト試験も、50代の男性を被験者に実施する予定です。